

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年2月13日
【四半期会計期間】	第134期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
【会社名】	ビオフェルミン製薬株式会社
【英訳名】	BIOFERMIN PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北谷 脩
【本店の所在の場所】	神戸市中央区三宮町一丁目1番2号
【電話番号】	(078) 332 - 2890 代表
【事務連絡者氏名】	執行役員 総務本部長 北村 英彦
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区三宮町一丁目1番2号
【電話番号】	(078) 332 - 2890 代表
【事務連絡者氏名】	執行役員 総務本部長 北村 英彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第133期 第 3 四半期累計期間	第134期 第 3 四半期累計期間	第133期
会計期間	自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日	自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日	自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月31日
売上高 (千円)	8,654,498	9,330,277	11,542,869
経常利益 (千円)	2,529,156	2,838,433	3,273,811
四半期(当期)純利益 (千円)	1,771,306	2,016,433	2,305,423
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	1,227,000	1,227,000	1,227,000
発行済株式総数 (千株)	12,154	12,154	12,154
純資産額 (千円)	27,513,796	29,479,015	28,246,627
総資産額 (千円)	30,338,561	32,205,986	31,165,451
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	148.13	168.58	192.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	147.97	168.36	192.58
1株当たり配当額 (円)	30.00	30.00	60.00
自己資本比率 (%)	90.6	91.4	90.6

回次	第133期 第 3 四半期会計期間	第134期 第 3 四半期会計期間
会計期間	自 2018年10月 1 日 至 2018年12月31日	自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	31.80	72.88

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資損益を記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社及び親会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期累計期間の売上高は、主力製品である「新BioフェルミンS」が58億4千1百万円（前年同四半期比8.2%の増加）となったため一般用製品全体で64億5千6百万円（前年同四半期比11.2%の増加）となりました。医療用医薬品は26億4千5百万円（前年同四半期比2.0%の増加）となりました。

食品原料を含めた売上高全体では、93億3千万円（前年同四半期比7.8%の増加）となり、営業利益が27億6千8百万円（前年同四半期比12.8%の増加）、経常利益が28億3千8百万円（前年同四半期比12.2%の増加）、四半期純利益は20億1千6百万円（前年同四半期比13.8%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前事業年度末に比べて10億4千万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、322億5百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金や売掛金の増加が主な要因となり、前事業年度末に比べて15億2千5百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、217億5百万円となりました。

固定資産は、当社保有株式の時価の減少があったこと、また有形固定資産の売却及び減価償却による減少があったことによって、前事業年度末に比べて4億8千5百万円減少し、当第3四半期会計期間末における残高は、105億円となりました。

負債は、前事業年度末に比べて1億9千1百万円減少し、当第3四半期会計期間末における残高は、27億2千6百万円となりました。

純資産は、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べて12億3千2百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、294億7千9百万円となり、自己資本比率は91.4%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は、327,844千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,154,000	12,154,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	12,154,000	12,154,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月31日	—	12,154	—	1,227,000	—	734,457

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である2019年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 192,400	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,947,500	119,475	—
単元未満株式	普通株式 14,100	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	12,154,000	—	—
総株主の議決権	—	119,475	—

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式67株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) バイオフェルミン製薬 株式会社	神戸市中央区三宮町 一丁目1番2号	192,400	—	192,400	1.5
計	—	192,400	—	192,400	1.5

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,455,949	16,930,288
売掛金	3,123,071	3,415,636
製品	741,139	378,008
仕掛品	664,863	778,554
原材料及び貯蔵品	165,974	187,785
その他	28,384	14,828
流動資産合計	20,179,382	21,705,101
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,793,472	8,388,372
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,223,203	5,122,852
建物（純額）	3,570,268	3,265,519
構築物	277,841	278,279
減価償却累計額及び減損損失累計額	234,515	238,253
構築物（純額）	43,325	40,025
機械及び装置	9,778,257	10,131,030
減価償却累計額及び減損損失累計額	8,316,945	8,695,220
機械及び装置（純額）	1,461,312	1,435,810
車両運搬具	16,582	16,582
減価償却累計額及び減損損失累計額	15,515	16,315
車両運搬具（純額）	1,066	266
工具、器具及び備品	958,316	959,229
減価償却累計額及び減損損失累計額	653,622	642,276
工具、器具及び備品（純額）	304,694	316,952
土地	3,338,574	3,247,305
リース資産	7,584	7,584
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,780	3,918
リース資産（純額）	4,803	3,665
建設仮勘定	11,700	59,050
有形固定資産合計	8,735,745	8,368,594
無形固定資産	88,151	81,392
投資その他の資産		
投資有価証券	2,089,387	1,978,666
従業員に対する長期貸付金	2,740	2,270
その他	70,043	69,961
投資その他の資産合計	2,162,171	2,050,897
固定資産合計	10,986,068	10,500,884
資産合計	31,165,451	32,205,986

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,100	45,410
未払金	934,073	825,843
未払法人税等	498,918	404,903
預り金	9,847	87,917
リース債務	1,638	1,638
販売促進引当金	161,100	191,000
賞与引当金	203,157	109,439
流動負債合計	1,828,834	1,666,152
固定負債		
リース債務	3,549	2,320
繰延税金負債	612,270	564,323
退職給付引当金	461,297	481,302
その他	12,871	12,871
固定負債合計	1,089,988	1,060,817
負債合計	2,918,823	2,726,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,000	1,227,000
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	25,432,874	26,731,613
自己株式	292,103	292,492
株主資本合計	27,134,321	28,432,672
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,089,529	1,012,688
評価・換算差額等合計	1,089,529	1,012,688
新株予約権	22,777	33,655
純資産合計	28,246,627	29,479,015
負債純資産合計	31,165,451	32,205,986

(2) 【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,654,498	9,330,277
売上原価	3,282,985	3,526,245
売上総利益	5,371,512	5,804,031
販売費及び一般管理費		
販売促進費	167,984	186,244
販売促進引当金繰入額	263,000	151,055
発送費	35,737	38,920
広告宣伝費	1,360,161	1,412,658
役員報酬	76,315	71,013
給料及び手当	377,062	443,795
賞与引当金繰入額	36,896	35,825
退職給付費用	15,870	15,142
福利厚生費	63,987	67,517
株式報酬費用	8,840	10,878
減価償却費	28,907	28,130
研究開発費	247,739	327,844
その他	233,886	246,751
販売費及び一般管理費合計	2,916,389	3,035,779
営業利益	2,455,123	2,768,252
営業外収益		
受取利息	370	303
受取配当金	71,996	73,550
その他	28,716	8,573
営業外収益合計	101,083	82,426
営業外費用		
固定資産除却損	856	1,733
たな卸資産廃棄損	15,711	1,265
減価償却費	8,079	3,966
固定資産売却損	-	2,973
その他	2,404	2,307
営業外費用合計	27,050	12,245
経常利益	2,529,156	2,838,433
税引前四半期純利益	2,529,156	2,838,433
法人税等	757,849	822,000
四半期純利益	1,771,306	2,016,433

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
税金費用の計算	
当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。	

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
----	----

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
----	----

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	678,799千円	778,243千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月10日 取締役会	普通株式	358,526	30	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金
2018年10月24日 取締役会	普通株式	358,849	30	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月9日 取締役会	普通株式	358,848	30	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金
2019年10月29日 取締役会	普通株式	358,845	30	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社がありませんので、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社は単一セグメント(医薬品製造業)であるため、セグメント情報につきましては記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は単一セグメント(医薬品製造業)であるため、セグメント情報につきましては記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 3 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	148円13銭	168円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	1,771,306	2,016,433
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,771,306	2,016,433
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,957	11,961
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	147円97銭	168円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	12	15
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第134期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当については、2019年10月29日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次の通り中間配当を行うことを決議し、中間配当を行いました。

配当金の総額	358,845千円
1 株当たりの配当金	30円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年 2月10日

バイオフェルミン製薬株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 直 子 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 児 玉 秀 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているバイオフェルミン製薬株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第134期事業年度の第3四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、バイオフェルミン製薬株式会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。